

生徒の皆さんへ

校長 永野 卓

新型コロナウイルスとの関係で日常が変わってから、半年以上経過しました。その間に新しい生活様式に則り、生活してきた皆さんには本当に敬意を表します。大分、コロナの特性が分かっています。油断は禁物です。報道によると、若者の重症化は少なく、若者は無発症のまま他人に移す媒介者として捉えられています。皆さんが行動を自粛するのは、周りの人たちのことを考えてのことです。これからの学校生活全般についても、引き続き文部科学省のガイダンスに従っていきたいと考えていますので、これまで以上の行動を心掛けて下さい。

10月に体育祭・芸術鑑賞会・記念講演、11月に学園祭が控えています。ここで注意しなくてはならないのが、もし感染者が出ると、これらの楽しみにしている行事が出来なくなることです。残念なことですが、校内で感染者が出た場合には、学校としてしっかりと受け止めます。その際、感染者の特定や誹謗・中傷は悲しいことです。北陵生として潔く受け止め、その人のことを考えましょう。誰が罹ってもおかしくない段階にきていますし、どんなに予防しても防げないレベルにきています。誰にも責任はありません。敢えて責任があると言えば、アマビエです。全て背負ってくれるはずですが。

真面目に考えると、このコロナ禍で求められるのは冷静で柔軟な対応力です。歴史的に見ても、なかなか体験出来ない出来事の渦中にいます。やっかいなもので、この新型コロナは感染ルートが分からないまま、水面下で着々と広がっています。罹ったとしても誰にも責任はありません。これまでよく頑張ってきました。誰を責めることなくその人に寄り添いましょう。いつ自分がその立場になっても良いようにと考えながら、他人への誹謗・中傷はやめましょう。ストレスを吐くことで他人を傷つけないで欲しい。誰もがこの出来事に大きなストレスを抱えているのも理解しましょう。

ここにきて、本校の関係者にも身近な問題として降り懸かってきました。私自身もコロナに罹り皆に迷惑を掛けるのも、自分が苦しむのも御免です。でもそれ以上に、人との関係が壊れるのを恐れています。自分の中のストレスを他人にぶつける人間にはなりたくない、そう思っています。100%出来ないかもしれませんが、そういう人を目指しましょう。北陵高校で学んでいる皆さんは想像力豊かにどういう行動をするべきかわかるはずです。「コロナに負けない」とは人との関係を壊さずにより強い絆で結ばれることではないのでしょうか？コロナを乗り越えた先にどんな自分と出会えるのか、を楽しみに今と向き合っていきましょう。

まだまだこの生活様式は続きそうです。これまでと違うのは常に行事に向けて準備していきませんが、いつ方向転換するか分からないことです。そう考えていてください。



妖怪頼み（笑）